

鳥取砂丘コナン空港 コンセッションの概要

2022(令和4)年12月
鳥取県県土整備部空港港湾課

(1) 空港の概要

空港の沿革(1/2)

- 1967年(S42)7月- 県営鳥取空港の供用開始(1,200m×30m)
8月1日から全日空運輸株式会社F-27フレンドシップ機(40人乗)により東京便運行開始
(東京-米子の往路のみ鳥取空港に寄港)
- 1969年(S44)5月- 東京便を廃止、大阪便新設(1日2往復)
- 1972年(S47)3月- 1,500m滑走路供用開始(1,500m×45m)
- 1979年(S54)8月- 東京直行便新設(1日1往復、YS-11機(60人乗))
- 1985年(S60)7月- 1,800m滑走路供用開始(1,800m×45m)
ジェット機就航(東京便1日2往復(ボーイング737-200(126人乗り)))
- 1987年(S62)3月- 大阪便減便(2→1往復)
- 1990年(H2)7月- 2,000m滑走路供用開始(2,000m×45m、ILS供用開始)
東京便増備(2→3往復)
- 1995年(H7)4月- 動物検疫、植物防疫指定空港となる。 ※CIQ(税関、入国管理、検疫)は未指定
- 1995年(H7)9月- 大阪便休止(27年間、129万人)
- 1996年(H8)4月- 鳥取空港国際会館(現国際線ターミナル)開館
- 2003年(H15)4月- 名古屋便就航(1日1往復)
- 2003年(H15)7月- 東京便増便(3→4往復)
- 2006年(H18)7月- 名古屋(中部国際)便廃止
- 2014年(H26)3月- 東京便増便(4→5往復)
- 2015年(H27)3月- 「鳥取砂丘コナン空港」愛称化スタート(名探偵コナン展示開始)
- 2015年(H27)4月- リモート化(RAG)開始
- 2018年(H30)7月- コンセッション方式による民営化開始
空港ターミナルビル一体化グランドオープン
(国内線ターミナルと国際線ターミナルの増築、一体化)
- 2019年(R1)8月- 低層風情報提供システム(SOLWIN)運用開始(試験運用は2018年(H30)8月～)

(1) 空港の概要

空港の沿革(2/2)

・空港の緒元

滑走路長 2,000m、幅 45m
面積107.6ha
運用時間 14時間30分(7:00~21:30)

・整備等の沿革

昭和42年 7月 県営鳥取空港供用開始(1,200m滑走路)
昭和47年 3月 1,500m滑走路供用開始
昭和48年 5月 夜間照明施設の供用開始
昭和60年 7月 1,800m滑走路供用開始(ジェット機就航)
平成 2年 7月 2,000m滑走路供用開始
平成10年 2月 小型機エプロン供用開始
平成27年 3月 「鳥取砂丘コナン空港」愛称化
平成30年 7月 コンセッション方式による民営化開始
空港ターミナルビル一体化グランドオープン (国内線ターミナル・国際線ターミナル一体化)



・路線の沿革

昭和42年 8月 東京便運行開始(米子~東京便の往路のみ寄港)
昭和44年 5月 大阪便就航
昭和54年 8月 東京便就航(1日1往復 YS-11)
平成 7年 9月 大阪便休止
平成 8年10月 広島西便就航
平成13年 3月 広島西便廃止
平成15年 4月 名古屋便就航
平成15年 7月 東京便(3→4往復便/日)
平成18年 1月 夜間駐機(ナイトステイ)開始
7月 名古屋便廃止
平成26年 3月 東京便(4→5往復便/日)

・近隣市町村の人口等

鳥取県東・中部、兵庫県美方郡 約40万人

(1) 空港の概要

空港施設の概要(1/2)

設置者・管理者(運営権者)	鳥取県・鳥取空港ビル株式会社
飛行場の種類	陸上飛行場(地方管理空港)
飛行場の位置	鳥取市賀露町及び湖山町
標点(滑走路の中央)の位置	北緯 35° 31' 48'' 東経 134° 09' 54''
標点(滑走路の中央)の標高	14.7m
滑走路の方向	N 93° 47' 49''(真方位) N 100° 27' 49''(磁方位)
制限表面等	進入区域の長さ及び勾配 3,000m、1/50 水平表面の半径 3,000m 転移表面 1/7
飛行場の敷地面積	107.3ha

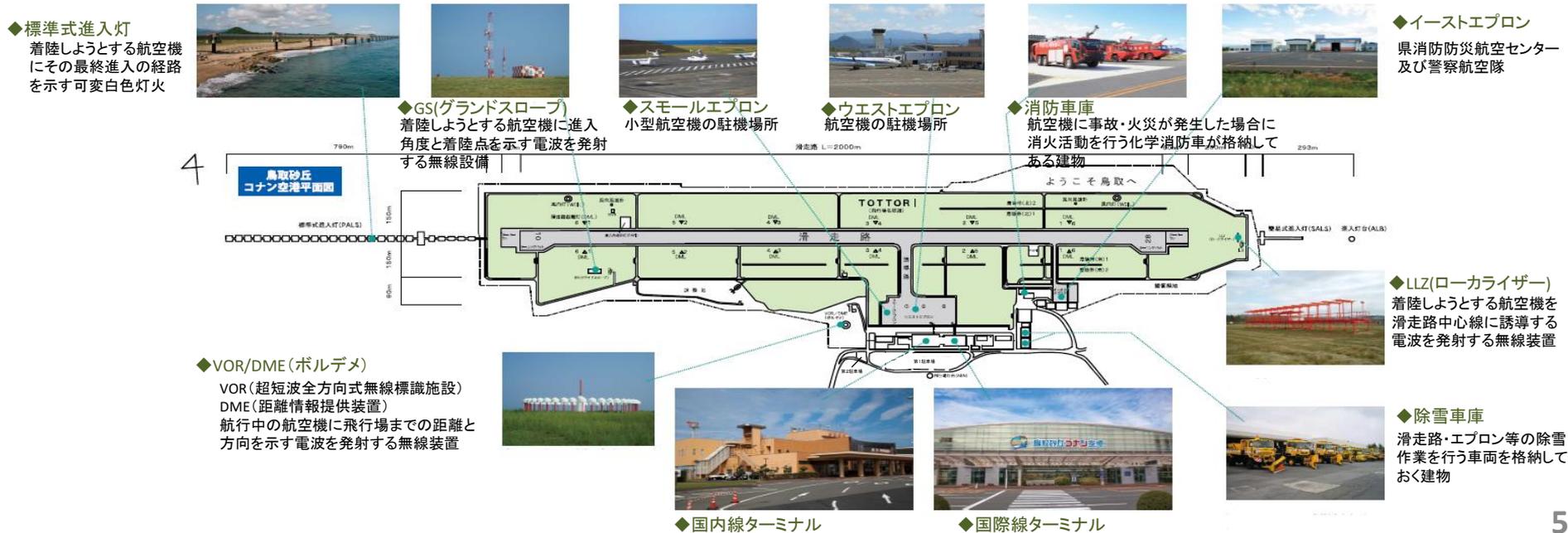


着陸帯	2,120m × 300m (C級)	—
滑走路	2,000m × 45m	単車輪加重30t (アスファルトコンクリート舗装)
誘導路	190m × 30m	(アスファルトコンクリート舗装)
ウエストエプロン	18,480m ² (110m × 168m)	中型ジェット機 3バース セメントコンクリート舗装)
誘導路	52.0m × 9m	(アスファルトコンクリート舗装)
スモールエプロン	4,188m ²	単発機 5バース、双発機 3バース (アスファルトコンクリート舗装)
誘導路	146.5m × 8m	(アスファルトコンクリート舗装)
イーストエプロン	1,958m ²	中型ヘリ機 2バース (アスファルトコンクリート舗装)
運用時間	午前7時～午後9時30分(14時間30分)	

(1) 空港の概要

空港施設の概要(2/2)

照明施設	CAT-1 PALS航空灯火等一式	
無線施設	ILS(計器着陸装置)、VOR/DME(超短波全方向式無線標識/距離測定装置)	
気象施設	RVR(滑走路視距離観測装置)等気象観測施設一式	
その他の施設	航空局庁舎	1,111㎡(RC-2階建、一部6階建)
	国内線ターミナル	2,975㎡(RC-2階建、一部3階建) ボーディングブリッジ(搭乗橋)1基、貨物ビル 508㎡(S-平屋建)
	国際線ターミナル	5,653㎡(S-2階建、一部3階建) ボーディングブリッジ(搭乗橋)1基、コナンホール300㎡
	消防施設	大型化学消防車1号車(水槽容量6,100ℓ、吐出量4,500ℓ/分) 2号車(水槽容量12,500ℓ、吐出量6,000ℓ/分)、3号車(水槽容量10,500ℓ、吐出量6,000ℓ/分)
	給油施設	100kℓタンク1基
	駐車場	第1駐車場787台 第2駐車場48台(R2 第1と第2を一体化) 第3駐車場65台(R3 ボルデメ付近) 合計900台



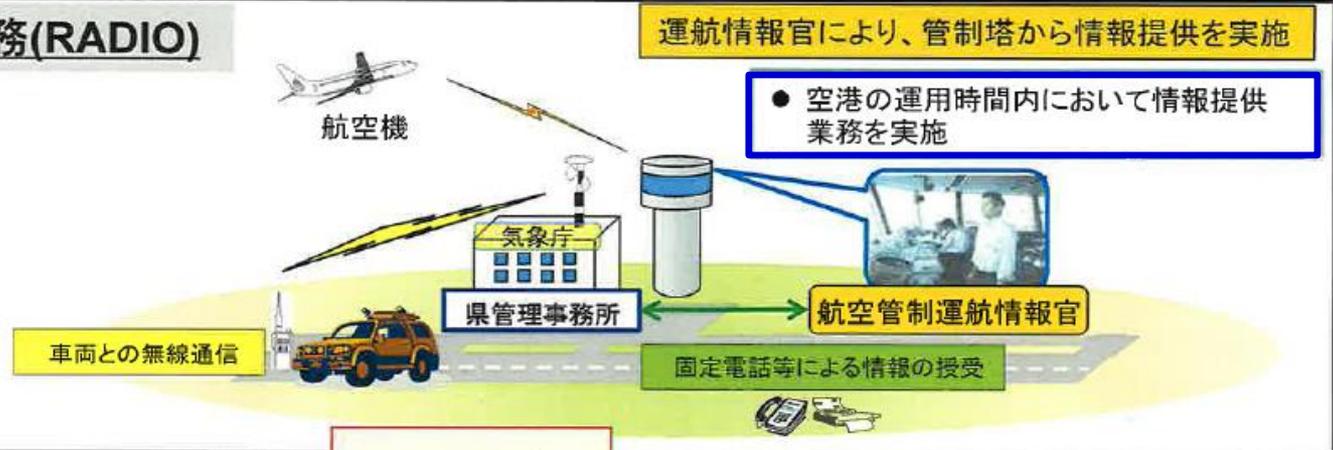
(1) 空港の概要

近年のトピックス (2015年(H27)4月-リモート化(RAG)開始)

- 大阪FSC(飛行援助センター、大阪国際空港)の運航情報官が航空機に対して、離発着に必要な情報(使用滑走路、気象情報、交通状況、飛行場の状態等)の提供を行う。
- 全国には、対空センター2ヶ所、FSCが3ヶ所、リモート空港が38ヶ所存在する(2022年4月現在)。

飛行場対空援助業務(RADIO)

2015年3月まで



2015年4月以降

リモート化

他飛行場援助業務(RAG)

飛行援助センター(FSC)

FSC: Flight Service Center
24時間運用



航空管制運航情報官



航空機の運航の安全を確保しつつ、空港の利便性を向上

(1) 空港の概要

近年のトピックス (2015年(H27)3月-「鳥取砂丘コナン空港」愛称化)

平成27年3月に愛称化されて以降、年々空港内のコナン装飾の充実を図り、コナンファンはもとより、国内外で話題となり、多くの方が来訪している。

■鳥取砂丘コナン空港の愛称化・コナン装飾の実施状況

○2014年度(H26)・・・空港愛称化・コナン装飾【第1弾】

- ✓ 「名探偵コナン」が持つ全国的な知名度を生かし、「鳥取砂丘コナン空港」の愛称化を決定
- ✓ 主な内容: 国内線ビル屋上サイン、国際会館ファサードサイン、国際会館床面トリックアート、ウエルカムスペース(記念撮影スポット)、中央ロビー天吊りフラッグ ほか



国内線屋上サイン



国内線ターミナルファサードサイン



床面トリックアート



ウエルカムスペース(現在無)



天吊りフラッグ

○2015年度(H27)・・・コナン装飾【第2弾】

- ✓ 新たにフィギュアを設置するとともに、記念撮影コーナーや空港内を巡り謎解きするクイズラリーを新設。
- ✓ 主な内容: 毛利小五郎フィギュア、怪盗キッドフィギュア、メモリアルスポット、クイズラリー「黄金の二十世紀梨を追え」 ほか



毛利小五郎



怪盗キッド



メモリアルスポット

○2016年度(H28)・・・スタンプラリー、ナゾ解きラリー(バージョン1)

○2018年度(H30)・・・コナン装飾【第3弾】(空港ターミナルビル一体化グランドオープン時)

- ✓ 主な内容: シンボルオブジェ、喫茶ポアロ(安室透のフィギュア)、ナゾ解きラリー(バージョン2)、その他装飾・補修 など

(1) 空港の概要

近年のトピックス(2018年(H30)7月-空港ターミナルビル一体化グランドオープン)(1/2)

国内線ターミナルビルと国際線ターミナルの増築・一体化

従前の約4倍に増えたテナントスペースには、地元発の人気飲食店やコナングッズのショップなど新たに4店舗がオープン。



名探偵コナンの装飾の充実

到着ロビーに青山剛昌先生直筆メッセージが刻まれたシンボルオブジェ、喫茶ポアロの再現展示。



シンボルオブジェ



喫茶ポアロ

(1) 空港の概要

近年のトピックス(2018年(H30)7月-空港ターミナルビル一体化グランドオープン)(2/2)



鳥取砂丘コナン空港

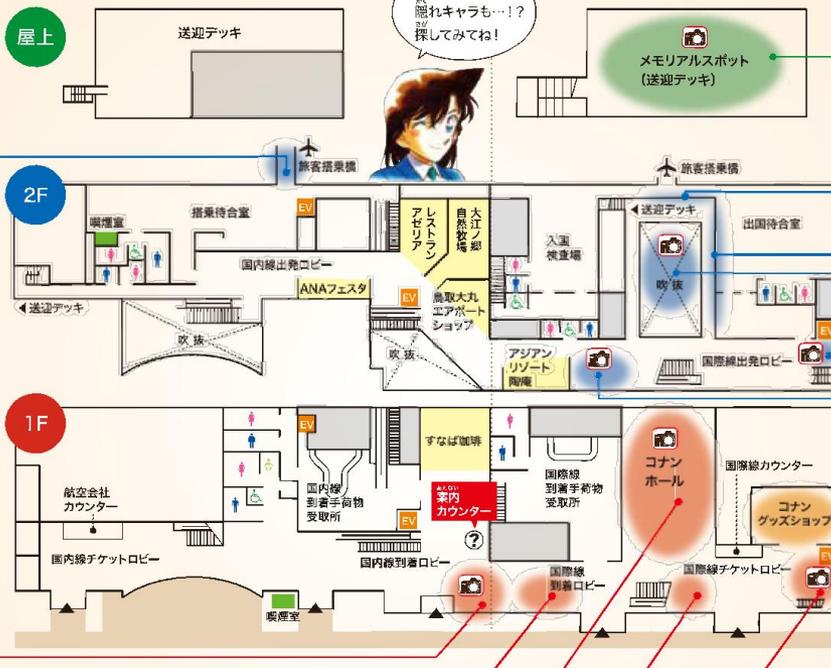
たん さく マップ 探索MAP

蘭&新一と一緒に記念写真を撮ろう!

メモリアルスポット

国内線ターミナル

国際線ターミナル



「メモリアルポスト」から投函すると、鳥取砂丘コナン空港オリジナル消印が押印されるよ。

コナン アートギャラリー



旅客搭乗橋で名探偵コナンの複製原画が観覧できるよ!
(ご注意) 飛行機ご利用の方のみご覧いただけます

シンボルオブジェ



青山剛昌先生メッセージオブジェやコナンと蘭のカラーオブジェの他、鳥取砂丘コナン空港オリジナルイラストや青山剛昌先生のサインなどを展示しているよ!

コナンと蘭のカラーオブジェがお出迎え!

コナン鳥取県ナビゲート



コナンが鳥取県の観光地をご案内! どこに行くか迷ったら、見に来てね!

コナンホール



特大トリックアート
コナンホールは「キャラクター絵合わせゲーム」や「トリック再現コーナー」など遊びが盛りだくさん!

阿笠博士の発明品



実際にコナンが使用している道具を展示しているよ。見に来てね!

喫茶ポアロ



毛利探偵事務所の隣にある、「喫茶ポアロ」を空港内に再現!

コナン ミニライブラリー

名探偵コナン歴代コミックスの背表紙に掲載しているイラストを紹介! 巻数を追うことによりバラバラ漫画風になっているよ!

コナン キャラクターウォール

名探偵コナンに登場するキャラクターを紹介しているよ! キミの好きな人物を探してみよう!

怪盗キッド カラーオブジェ

コナンホールにて、天をあおげ…
怪盗キッド参上!



赤井秀一 カラーオブジェ

建物の壁に寄りかかっていたはずむハードボイルドな雰囲気赤井秀一。時間によって臨場感あふれる音と映像の演出に出会えるかも…!



キッズコーナー



新一と蘭が遊んでいた米花保育園をテーマにした小さなお子様が安心して利用できるキッズコーナーだよ!

撮影スポット

©青山剛昌/小学館

(1) 空港の概要

近年のトピックス(2018年(H30)7月-コンセッション方式による民営化開始)

コンセッション導入の目的

県は、鳥取砂丘コナン空港を観光・賑わい・ビジネスの拠点とする「空の駅」化に取り組んでおり、空港の管理を民間に委託することで、民間のアイデアや経営ノウハウ、機動的な空港経営により、空港管理の効率化、空港の利用促進、空港を拠点とした賑わいの創出を実現する。

契約の概要

- 民間事業者: 鳥取空港ビル株式会社
- 事業期間: 2018年7月～2024年3月(5年9ヶ月)
- 運営交付金: 2,488百万円(年間で432百万円)

※コンセッションの導入による一体的な管理運営により、県の財政支出が17.3百万円削減される。

空港施設の概要

【事業の範囲】

① 空港運営等事業

- ・ 空港基本施設(滑走路、着陸帯、誘導路、エプロン)
- ・ 空港航空保安施設(航空灯火、灯火整備棟等)
- ・ 国際線ターミナルビル(中央棟を含む)、駐車場、その他空港用地

② 環境対策事業

③ 附帯事業

- ・ ハイジャック等防止対策、協議会等への参画
- ・ 運営権者が提案する事業・業務(空港の就航促進・利用促進・空の駅化に関する事業)

④ 任意事業

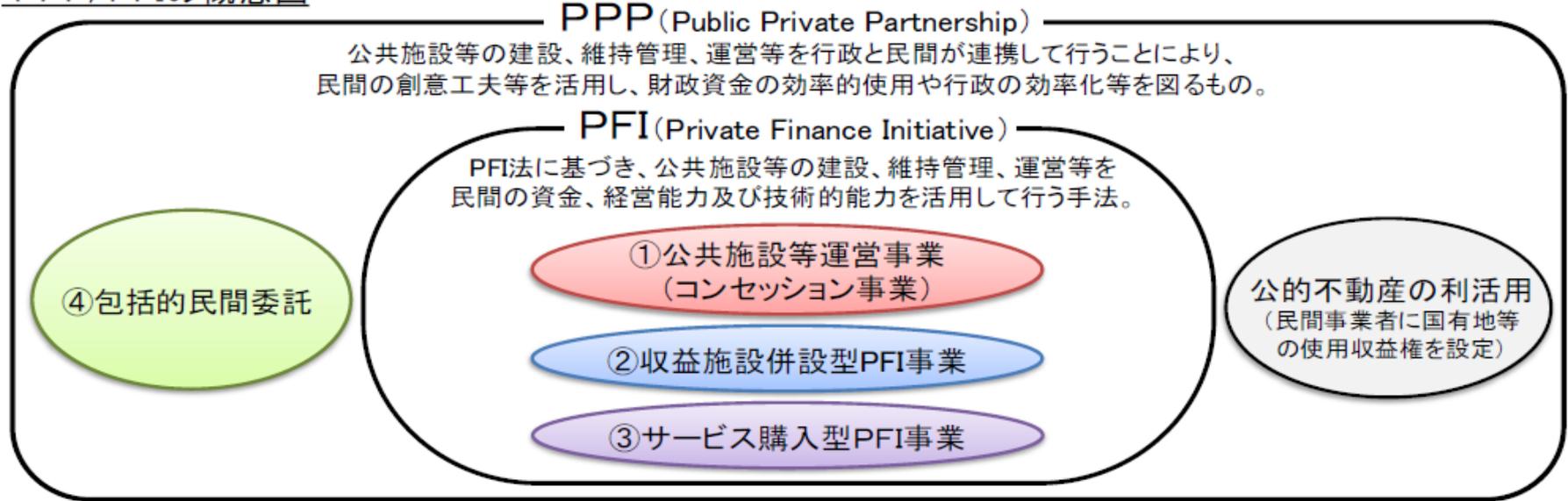


2018年7月 国内線ビルと国際線ビルを一体化

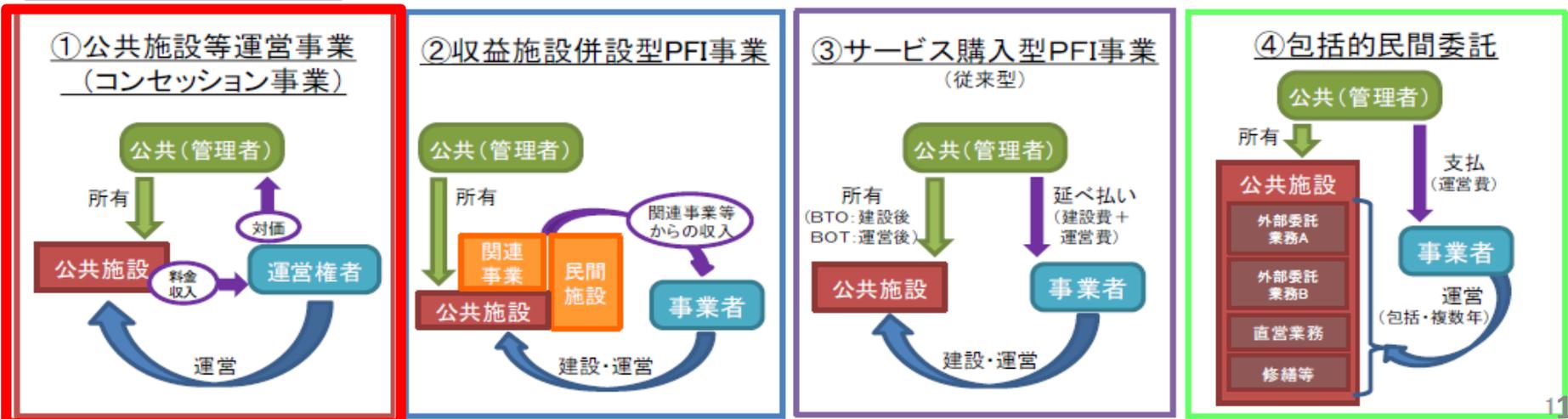
(2) PPP/PFI コンセッションの概要

PPP/PFI とは

PPP/PFIの概念図



各類型のスキーム図



(2) PPP/PFI コンセッションの概要

指定管理者制度とコンセッションとの違い

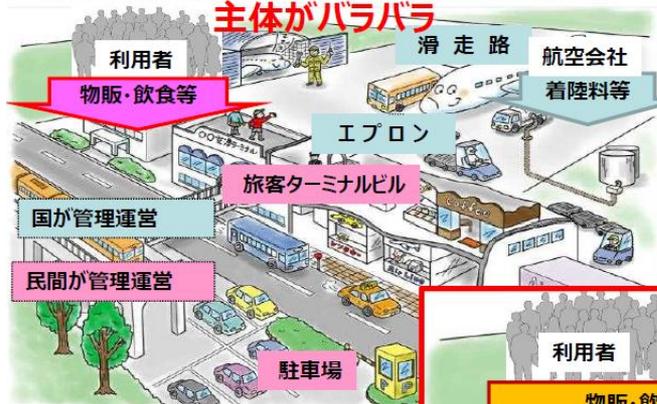
	指定管理者制度	コンセッション
根拠法令	<ul style="list-style-type: none"> ● 地方自治法 	<ul style="list-style-type: none"> ● 民活空港運営法 PFI法
法的位置づけ等	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政処分 ● 管理代行(管理の包括的な委任) ● 協定 	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政処分 ● PFI法による運営権設定 ● 事業実施契約
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ● 指定管理者 	<ul style="list-style-type: none"> ● 運営権者(県が運営権売却)
着陸料	<ul style="list-style-type: none"> ● 県が設定、徴収 	<ul style="list-style-type: none"> ● 運営権者が設定、徴収
委託期間	<ul style="list-style-type: none"> ● 県の運用として最長5年 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般的には長期(今回5年9ヶ月)
事業者の業務範囲	<p><u>滑走路等の空港本体の管理は不可</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>民活空港運営法の適用により、滑走路等の空港本体の管理が可能</u>
運営の自由度	<p>指定管理条例および個別施設設置管理条例による協定により管理 ⇒ 条例、仕様書の履行義務に拘束 ⇒ 県の承認</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運営権者の店舗構成の工夫により入居店舗選定が可能 ● テナント料等は入居店舗等との交渉により指定管理者が県と協議 	<p>民間の資金・活力の導入を目的とした民活空港運営法、PFI法に基づく事業実施契約により管理 ⇒ 民間資金・活力導入を目的とし自由度が高い ⇒ 県への届け出</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <u>チャーター便、新規就航路の誘致活動を実施し、着陸料収入の増収を図ることが可能</u> ● 運営権者の店舗構成の工夫により入居店舗選定が可能(指定管理より自由度が高い) ● テナント料等は入居店舗等との交渉により運営権者が決定(指定管理より自由度が高い)

(2) PPP/PFI コンセッションの概要

コンセッションによる空港運営のイメージ

- 滑走路と空港ビルの一体化
- 民間の資金とノウハウを活用した空港運営

我が国の国管理空港は、各施設の運営
主体がバラバラ

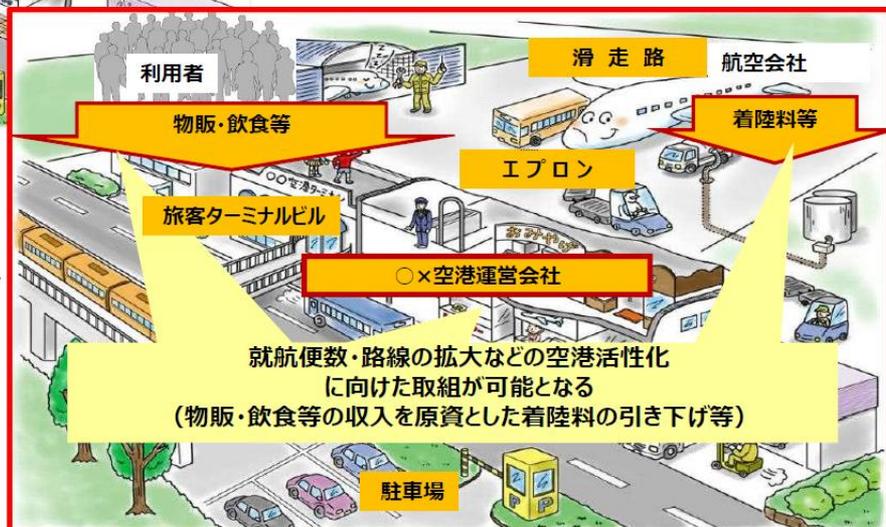


一体化のための手法として「コンセッション」

訪問客数
の増加



地域経済
の活性化



(2) PPP／PFI コンセッションの概要

空港コンセッションの推進についての国のスタンス

PPP／PFI 推進アクションプラン（抜粋）（民間資金等活用事業推進会議決定）

<平成29年改定版>

空港運営の自由度を高め、既存ストックを活用した新規需要の開拓や交流人口の拡大による地域活性化に資するため、原則として全ての国管理空港にコンセッションを拡大するとともに、地方管理空港においても積極的な導入を図る。

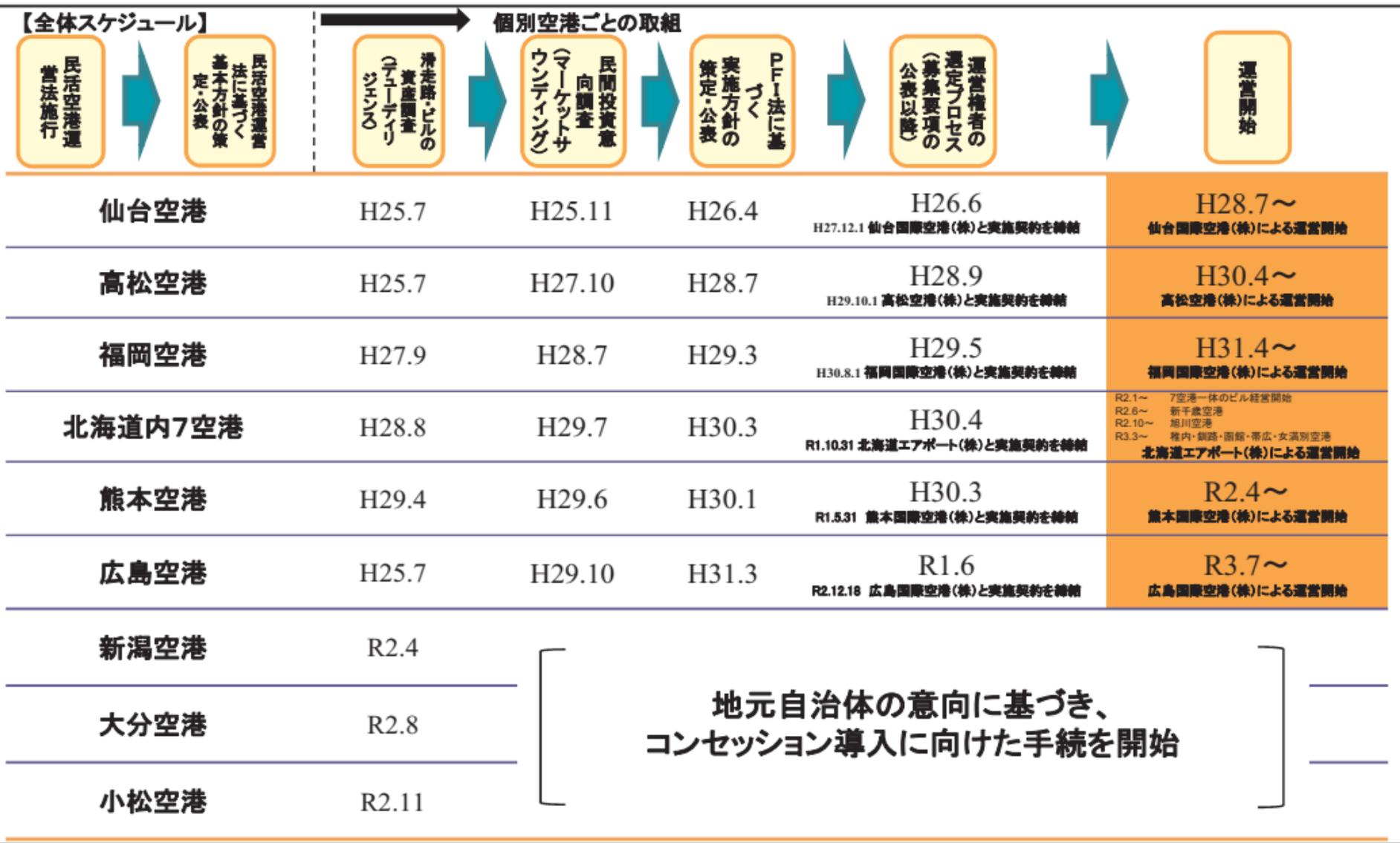


<平成30年改定版>

空港運営の自由度を高め、既存ストックを活用した新規需要の開拓や交流人口の拡大による地域活性化に資するため、地方管理空港を含め、原則として全ての空港へのコンセッションの導入を促進する。

(2) PPP/PFI コンセッションの概要

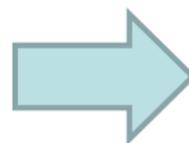
空港運営のコンセッションに関する検討状況(国管理空港)



(2) PPP/PFI コンセッションの概要

空港運営のコンセッションに関する検討状況(地方管理空港)

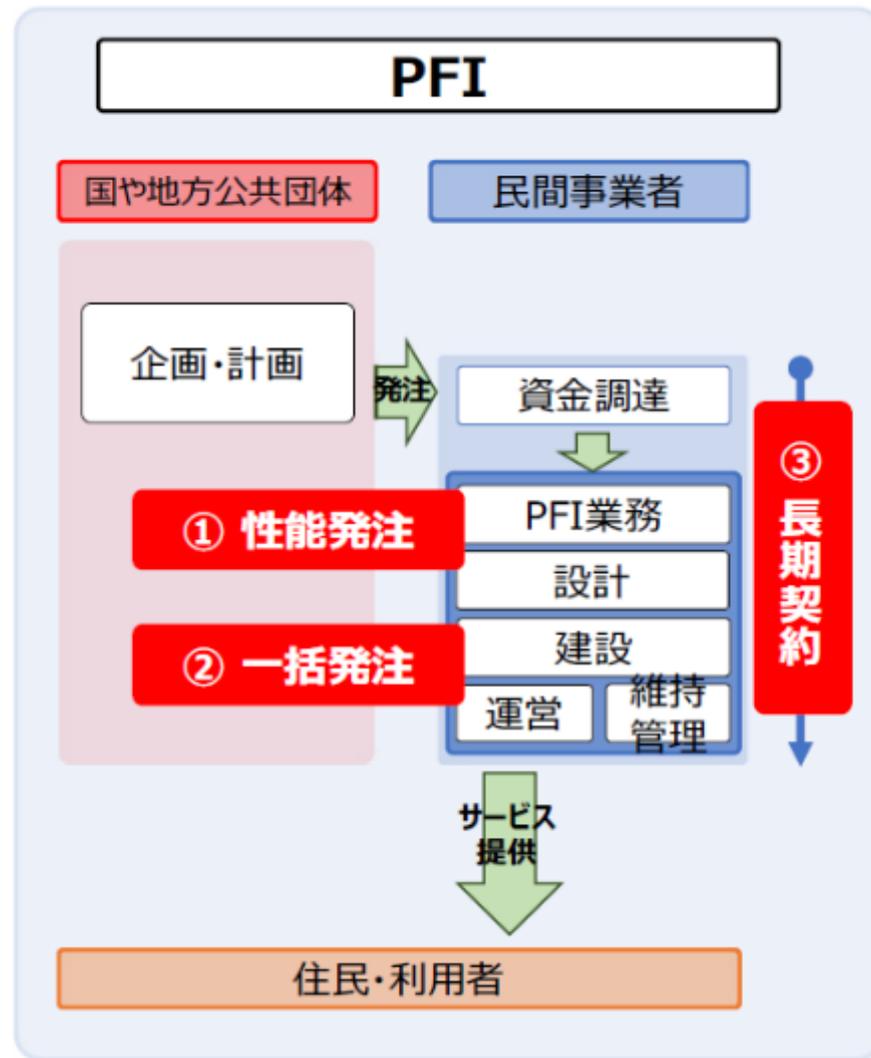
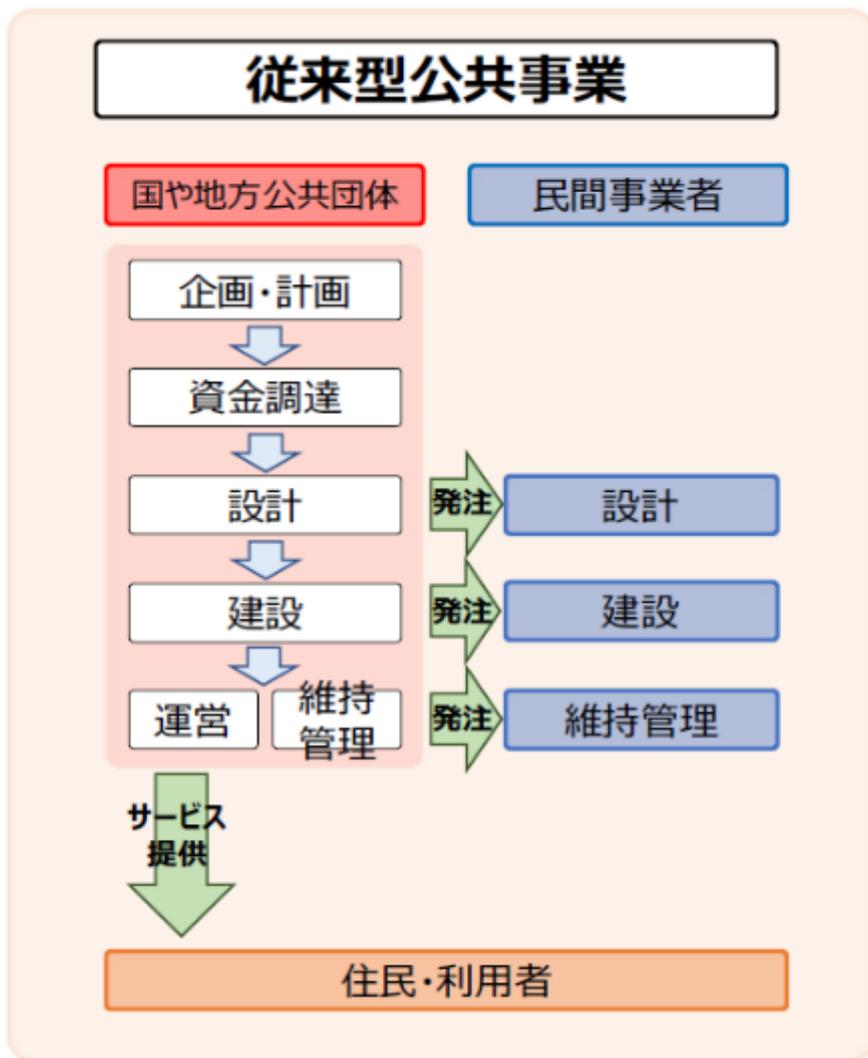
PFI法に基づく
実施方針の策定



運営の民間
委託を開始

但馬空港	H26.4	H27.1～ 但馬空港ターミナル(株)による運営開始
神戸空港	H28.9	H30.4～ 関西エアポート神戸(株)による運営開始
鳥取空港	H29.12	H30.7～ 鳥取空港ビル(株)による運営開始
静岡空港	H29.4	H31.4～ 富士山静岡空港(株)による運営開始
南紀白浜空港	H30.5	H31.4～ (株)南紀白浜エアポートによる運営開始

(参考) PFIの特徴



(参考) PFIの特徴

	従来型公共事業	PFI
発注・契約方法	<ul style="list-style-type: none"> 設計、建設、維持管理・運営等の業務ごとに分離・分割発注 業務ごとに1社またはJVに発注 単年度契約（建設期間が複数年に亘る場合は複数年） 仕様発注 	<ul style="list-style-type: none"> 設計、建設、維持管理・運営等までの一括発注 グループ（コンソーシアム）で参画し、落札グループが設立するSPCに発注する形態が多い 性能発注 長期契約
業務受注者の選定方法	<ul style="list-style-type: none"> 総合評価一般価格入札または価格のみの評価が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 公募型プロポーザルが多い 性能と価格の総合評価 審査委員会等による客観的評価 公平性・透明性の確保
資金調達方法	<ul style="list-style-type: none"> 公共：交付金、一般財源、起債 民間：－ 	<ul style="list-style-type: none"> 公共：原則として交付金相当分のみ 民間：銀行借入（プロジェクトファイナンス）
リスク分担	<ul style="list-style-type: none"> 公共のリスク 	<ul style="list-style-type: none"> 公共と民間のリスク分担
財政負担額の算定	<ul style="list-style-type: none"> 直接の支払額のみ（維持管理等も含めた業務毎に算定） 	<ul style="list-style-type: none"> 施設等のライフサイクルコストを算定

(参考) PFIの特徴(仕様発注と性能発注)

従来型公共事業

仕様発注

発注者が詳細に仕様を規定し、受注者は規定された仕様に忠実に施工する方式

【例】技術方式は〇〇方式とし、使用する材料は〇〇とする。

【特徴】

- 詳細に仕様を規定出来るため、発注者の意図が反映されやすい
- 仕様が決まっているため、予算価格等の算出が容易
- 民間事業者に求める能力・ノウハウ等が少ないため、参入可能な民間事業者が多くなる傾向にある

PFI

性能発注

発注者が必要な性能を示し、受注者はそれを達成するための技術提供および施工する方式

【例】学校空調で、夏季は室内温度を28℃以下とする。

【特徴】

- 発注者は性能を規定するだけでよいので、事前の手間が少ない
- 民間の創意工夫の余地が大きく、コスト削減・品質向上につながりやすい
- 新技術や新工法開発のメリットが高まることから、技術開発促進が期待できる

(参考) PFIの特徴(分離発注と一括発注)

従来型公共事業

分離発注

設計・建設・維持管理・運営等を個別に発注する方式

【特徴】

- 個々の業務ボリュームが小さいため、1回の入札契約に要する期間が短い
- 民間事業者は個別に契約するため、不当な下請契約を防ぎやすい
- 民間事業者は異業種の民間事業者との調整が少なく、比較的事業参入しやすい

PFI

一括発注

設計・建設・維持管理・運営等をまとめて一括して発注する方式

【特徴】

- 1回の入札契約で済むため、事業全体での入札契約に要する期間や手間が少ない
- 民間事業者間での業務範囲調整が可能であるため、民間の創意工夫の余地が大きく、コスト削減・品質向上につながりやすい
- 個々の民間事業者間の調整は民間事業者が行うため、行政側の負担が少ない

(参考) PFIの特徴(短期契約と長期契約)

従来型公共事業

短期契約

主に維持管理・運営業務において、
単年度ごとの契約

【特徴】

- 契約期間終了後に、事業内容の見直しが行いやすい
- 民間事業者の新規参入が比較的容易
- 単年度予算の原則に合致

PFI

長期契約

主に維持管理・運営業務において、
長期間の契約

【特徴】

- 民間事業者は契約期間全体においての最適化を図るため、コスト削減・品質向上につながりやすい
- 民間事業者は安定的に仕事を確保できるため、採用事務や職場変更の負担が削減される
- 投資回収期間を長くとることが可能であるため、民間事業者が自主事業を提案しやすくなる

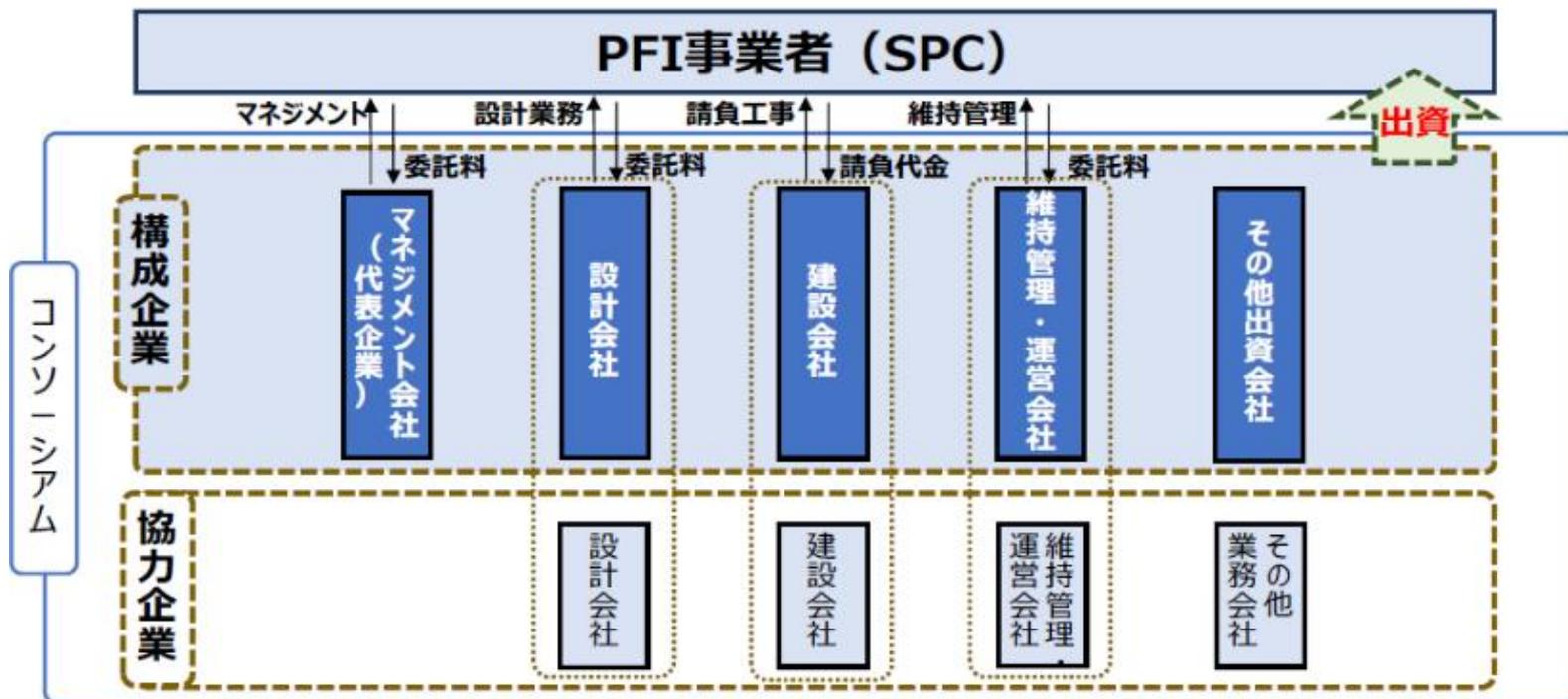
(参考) PFI事業の参加者構成

構成企業

入札参加者を構成する法人で、SPCから業務を直接受託または請負し、SPCに出資を行う者。

協力企業

入札参加者を構成する法人で、SPCから業務を直接受託または請負するが、SPCに出資を行わない者。



(3) 鳥取砂丘コナン空港のコンセッションの概要

コンセッション導入の目的

1. コンセッション導入の目的

県は鳥取砂丘コナン空港を観光・賑わい・ビジネスの拠点とする「空の駅」化に取り組んでおり、国内線ターミナルと国際線ターミナルを一体化し、鳥取空港と鳥取港の2つの港を1.6kmの道路(かっこ空港ロード)で繋ぎ、鳥取県東部の玄関口として賑わいづくりの拠点となる「ツインポート化」を進めている。

空港の管理を民間委託とすることで、民間のアイデア、経営ノウハウ、全国的なネットワークを活用したエアポートセールス(新規・臨時航空路線の誘致、観光誘致)、空港の更なる魅力向上や賑わい創出、県の政策との融合が可能になる。

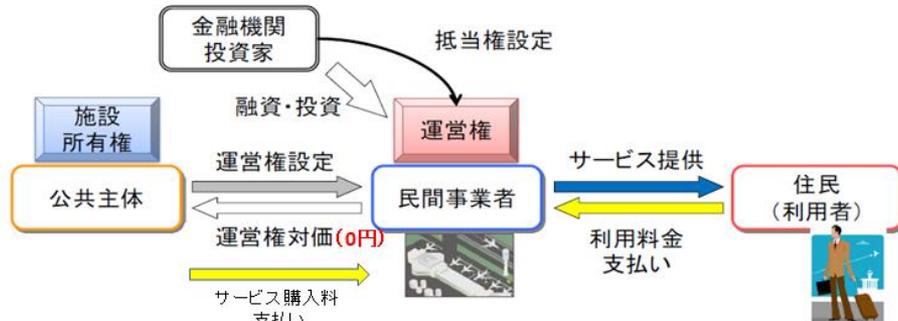
それらの効果により、「空の駅」化「ツインポート化」の推進がさらに加速され、鳥取県東部・中部・但馬地域の観光や地域経済の活性化が促進されることを期待しているものである。

2. 実施期間・運営権者

【実施期間】2018年(H30)7月から2024年(R6)3月(5年9カ月) 【運営権者】鳥取空港ビル株(一体管理)

3. コンセッションの方式(混合型)

- ・運営権者は着陸料、テナント料等の利用料金を設定・収受。自らの収入とし、空港運営を実施。
- ・県は、運営権者の収入で不足する管理運営費を運営交付金として一定額交付。



民間事業者の運営収入の不足を公共がサービス購入料として補填する。
公共施設等運営事業とサービス購入型PFI事業の混合型PFI事業

鳥取空港におけるコンセッションの仕組み ~空港運営の民間委託 Strictly Confidential

→ 県が滑走路や国際会館等の**所有権を留保**しつつ民間に運営権を設定し、航空系事業と非航空系事業を一体経営

施設等所有	国	県		空ビル
	管制塔等	滑走路等	国際会館・増築部	国内線TB等
運営	国	県		空ビル
	↓ 継続 ↓	↓ 運営権の設定 ↓		↓ 継続 ↓
	国	民間による管理運営(コンセッション)		民間による一体運営

(3) 鳥取砂丘コナン空港のコンセッションの概要

コンセッション導入の経緯(1/3)

■鳥取県PPP／PFI優先的検討方針の概要 [2016(H28).3.29策定]

○検討対象事業

①建設費の総額が10億円以上の公共施設整備事業（新設・改修）

②単年度の運営費が1億円以上の公共施設整備事業（運営等）

※他自治体で実績のある事業や公の施設の管理については、事業費が上記金額を下回っても検討を行うことができる。

○2016年(H28) 11月 県有施設・資産有効活用戦略会議 ⇒ **ここから実質約18ヶ月**
・指定管理者制度を導入していない公の施設のうち「民間活力の導入による一層の機能強化と管理業務等の効率化を検討する施設」とした10施設の一つとして決定。

施設名	考え方
鳥取空港	鳥取砂丘コナン空港の国内線ターミナルと国際会館の一体的活用が可能となる <u>空港ターミナルビルの一体化整備に併せて、ターミナルビル機能の強化と賑わい創出を図るため、民間活力を活用したコンセッション方式の導入などの検討が必要な施設。</u>

(3) 鳥取砂丘コナン空港のコンセッションの概要

コンセッション導入の経緯(2/3)

■ 民間事業者の選定

1. 選定基準

- (1) 空港の運営等に関する計画が当該運営等に係る業務の適正かつ確実な実施のために適切なものであること。
- (2) 空港の運営等を適正かつ確実に実施するために必要な経理的基礎及び技術的能力を有する者であること。

2. 民間事業者の指名指定

鳥取空港ビル株式会社による一体運営を行う。

<指名指定の理由>

- ✓ 鳥取空港ビルの一体化が供用開始する平成30年7月に合わせ、公共施設運営権による空港の一体的な民間による管理運営を導入するためには、指名による手法が妥当であること。
- ✓ 鳥取空港ビル株式会社が所有する国内線ターミナルビルと隣接する国際線ターミナルを含む空港基本施設等を一体的に管理運営できること。
- ✓ 鳥取空港ビル株式会社は、現在、国内線ターミナルビルを運営していることから、ターミナルビル運営の実績があり、また航空機の運航業務、貨物の取扱業務等の空港を運営する者と密接な連携・協力関係を構築していることから、空港全体の管理運営が可能であること。

3. 選定方法

- (1) 県は、民間事業者から提出された計画等が基準を満たしているか公正かつ客観的妥当性を担保するために、第三者機関である審査委員会を開催し、その意見を踏まえ、選定事業者として選定
- (2) その後、県は選定事業者へ公共施設等運営権の設定について、議会の議決を得たうえで、実施契約

(3) 鳥取砂丘コナン空港のコンセッションの概要

コンセッション導入の経緯(3/3)

■コンセッション導入のスケジュール

年月日	内容
2017年(H29)9月15日	実施方針の策定見通しの公表
2017年(H29)12月28日	実施方針の公表
2017年(H29)12月28日	特定運営事業の選定
2018年(H30)1月31日	民間事業者の選定
2018年(H30)3月23日	公共施設等運営権の設定
2018年(H30)4月20日	実施契約の締結
2018年(H30)7月1日	コンセッション事業の開始

(参考)

鳥取砂丘コナン空港におけるコンセッション導入に向けた取組

<https://www.pref.tottori.lg.jp/269995.htm>

鳥取砂丘コナン空港運営方式効率化に関する検討業務(国土交通省総合政策局社会資本整備政策課)

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kanminrenkei/sosei_kanminrenkei_tk1_000031.html

(3) 鳥取砂丘コナン空港のコンセッションの概要

実施契約の概要(1/3)

1 本事業の概要

- (1) 公共施設等の管理者 鳥取県知事 平井伸治
- (2) 担当課 鳥取県県土整備部空港港湾課
- (3) 事業の背景

鳥取砂丘コナン空港は、「名探偵コナンの装飾」や市街地・観光地への近接性等の強みを持ち、「ひと・もの・情報」が動き・集まる拠点として高い潜在能力を有しており、地域活性化の拠点施設として機能強化を図っていくことが課題となっている。

現在、「空港ターミナルビルの一体化」と近接する鳥取港との連携強化による「ツインポート化」を進め、空港利用者のおもてなし・利便性の向上及び交流人口拡大と地域活性化に向けた「空の駅」プロジェクトを進めており、従前の管理手法（県直営）では柔軟な運営実施には限界があるため、民間のノウハウを最大限活かした管理運営手法導入（コンセッション方式等）を検討してきたところである。

(4) 事業の目的

鳥取空港の「空の駅」を推進するため、空港の管理運営を公共施設等運営権制度に基づく民間による空港「経営」に転換し、民間による一体的かつ機動的な空港経営により、空港管理の効率化、空港の利用促進、空港を拠点とした賑わいの創出を実現する。

2 本事業の内容

(1) 対象施設

- ① 空港基本施設（滑走路、着陸帯、誘導路、エプロン）
- ② 空港基本施設附帯施設等（場周道路、場周柵、ゲート等）
- ③ 空港基本施設管理施設（消防車庫、電源局舎等）
- ④ 空港航空保安施設等（航空灯火、灯火整備棟等）
- ⑤ 国際線ターミナル（中央部含む） ⑥ 除雪車庫
- ⑦ 駐車場等（駐車場、構内道路） ⑧ 空港用地

(2) 事業期間

平成30年7月～令和6年3月（5年9ヶ月）

※ 期間延長および一部内容改善について準備中

空港関連施設の概要



土地所有状況



(3) 事業範囲

- ① 空港運営等事業
 - ・空港基本施設等運営等業務
 - ・空港航空保安施設等運営等業務
 - ・国際線ターミナル運営等業務
 - ・駐車場施設等運営等業務
 - ・空港用地運営等業務
- ② 環境対策事業
- ③ 附帯事業
 - ・ハイジャック等防止対策、協議会等への参画
 - ・運営権者が提案する事業・業務（空港の就航促進・利用促進・空の駅に関する事業）
- ④ 任意事業

(3) 鳥取砂丘コナン空港のコンセッションの概要

実施契約の概要(2/3)

(4) 要求水準

運営権者は、要求水準書を遵守して事業を実施。

<要求水準>

鳥取県営鳥取空港の設置及び管理に関する条例第22条第1項に基づき、事業実施の基準を示すもの

(5) 運営権者に与えられる権利

運営権者には、運営権、土地・建物の使用貸借権、関連備品の使用貸借権、関連物品の所有権が与えられる。

(6) 更新投資等の役割分担

区分	主な内容	分担	
		運営権者	県
更新	○施設を部分的又は全面的に同程度の機能で更新する行為 (滑走路舗装の全面補修、照明柱の建替、設備の交換等)		○
拡張	○施設の規模の拡大や機能の付加を行う行為 (駐車場の整備等)		○
更新投資 修繕	○施設の部分的な機能や性能を回復させる行為 (舗装の部分的損傷の補修、フェンスの張替、法面の補強等)		
	【50万円以上の大規模修繕】 ・大規模修繕にかかる交付金額(※)の範囲 (内容は、単年度計画で県と協議の上、決定する)	○	
	・交付金額を超える範囲		○
	○上記以外の小規模修繕(50万円未満)	○	
新規投資	○任意事業により施設を新たに整備する行為 (商業施設や宿泊施設等の新たな施設の整備)	○	

※ 大規模修繕及び小規模修繕にかかる交付金額は、県の直近3カ年の修繕経費を基準として算出する。

○コンセッションに国庫補助事業導入のための対応

・運営権者は、運営権設定対象施設のうち空港の基本となる施設である滑走路、誘導路等で国の補助事業の対象となる更新投資(更新、拡張)について、特定運営事業の実施にあたり運営権者も一定の利益を享受することになることから、更新投資に係る費用を一部負担。

(7) 計画及び報告

- ・運営権者は、事業期間にわたる全体計画及び単年度計画を県に提出し、県の承認を得るものとする。
- ・運営権者は、単年度計画の実施状況について県に報告する。

(8) 県から運営権者への職員の派遣

- ・運営権者は、本事業の実施のため、県職員の派遣を求めることができるものとし、県と運営権者との協議により決定する。

3 リスク分担の基本的な考え方

本事業におけるリスクは下記を除き運営権者が原則負担する。
運営権者は、事業期間中に自己の責任において、空港管理者損害賠償責任保険に加入。

- ①著しい航空需要の変動による着陸料収入
- ②不可抗力による損害(運営権者の維持管理上の過失を除く)
- ③対象施設で事業開始日以降1年以内に発見された隠れた瑕疵
- ④運営権に不当な影響を及ぼす法令、条例等の変更の影響によるもの
- ⑤緊急事態による運営権の行使の停止によるもの

参考

保険種別	保険対象物	保険内容	保険加入者
建物共済保険	建物等(国際会館、増築部など)	火災等の事故による損害・損失補償	県(県有施設は一括して災害共済保険に加入)
空港管理者賠償責任保険	管理運営対象物	維持管理上の損害賠償(故意を除く)	運営権者

※保険料は運営に必要な費用として運営交付金の対象とする。

(3) 鳥取砂丘コナン空港のコンセッションの概要

実施契約の概要(3/3)

4 運営権者の責任の履行確保に関する事項

運営権者が実施契約等に定められた業務を適正かつ確実に履行し、要求水準を達成しているか否かを確認するとともに、運営権者の財務状況を把握するため、実施契約及びモニタリング計画に定めるところにより、運営権者による自己点検等(セルフモニタリング)に加え、県による本事業の実施状況の確認等(モニタリング)を行う。

- (1) 運営権者によるセルフモニタリング
- (2) 県によるモニタリング
- (3) 法令等に基づく検査等

5 施設の利用に係る料金の收受と費用負担

- ・運営権者は、着陸料等について、設定、收受し、自らの収入とすることができる。
- ・運営権者は、本事業の実施に要する費用を負担する。
- ・県は、以下の費用を予算の範囲内で運営交付金として支援する。

運営交付金 = 基準費用 (県直営費用 - コスト削減額) - 基準収入

基準費用：右上表に係る業務を県直営で実施した場合の管理運営費から、本事業によるコスト削減額の一部を減算した額

基準収入：右上表に係る収入

※H26～H28の空港管理運営費に基づき算出

- ・収益の取り扱い
運営権者のインセンティブを働かせ、県民サービスの向上を図るため、運営交付金を含めた収入が実際の経費を上回った場合は、その収益は、運営権者の収益として認める。

基準費用の対象業務

- ・空港基本施設等運営等業務
- ・空港航空保安施設等運営等業務
- ・国際会館運営等業務
- ・駐車場施設等運営等業務
- ・空港用地運営等業務
- ・環境対策事業
- ・附帯事業

基準収入の対象収入

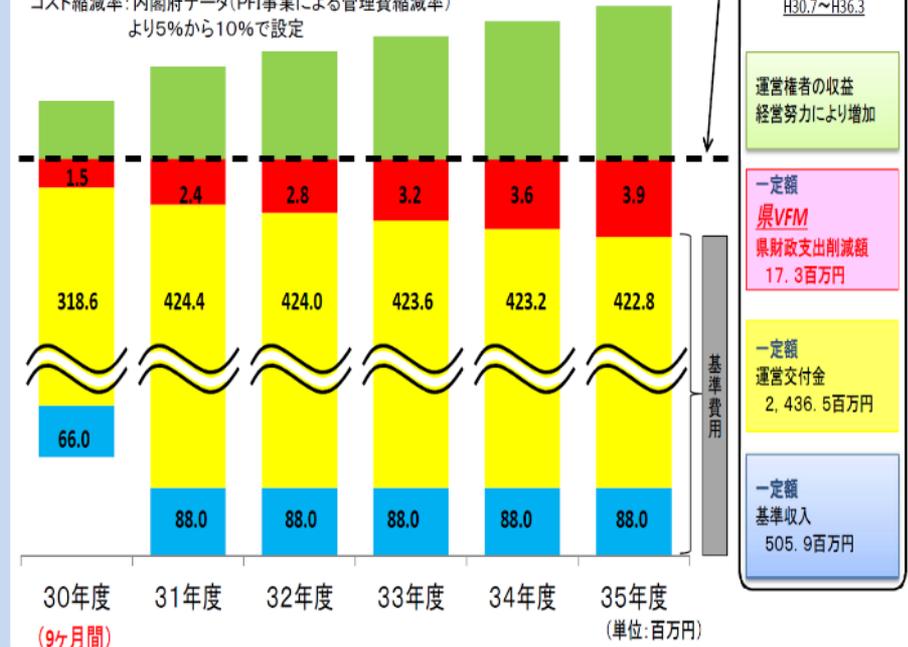
- 左に附帯する収入
- ・着陸料
 - ・停留料
 - ・土地使用料 等
- ※県の政策により、減免がある場合は減免後の収入を基準収入とする。

参考 運営権者の収支イメージ

コスト削減額 単位: 百万円

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
ビル管理費	29.6	39.5	39.5	39.5	39.5	39.5
コスト削減率	5%	6%	7%	8%	9%	10%
コスト削減額	1.5	2.4	2.8	3.2	3.6	3.9

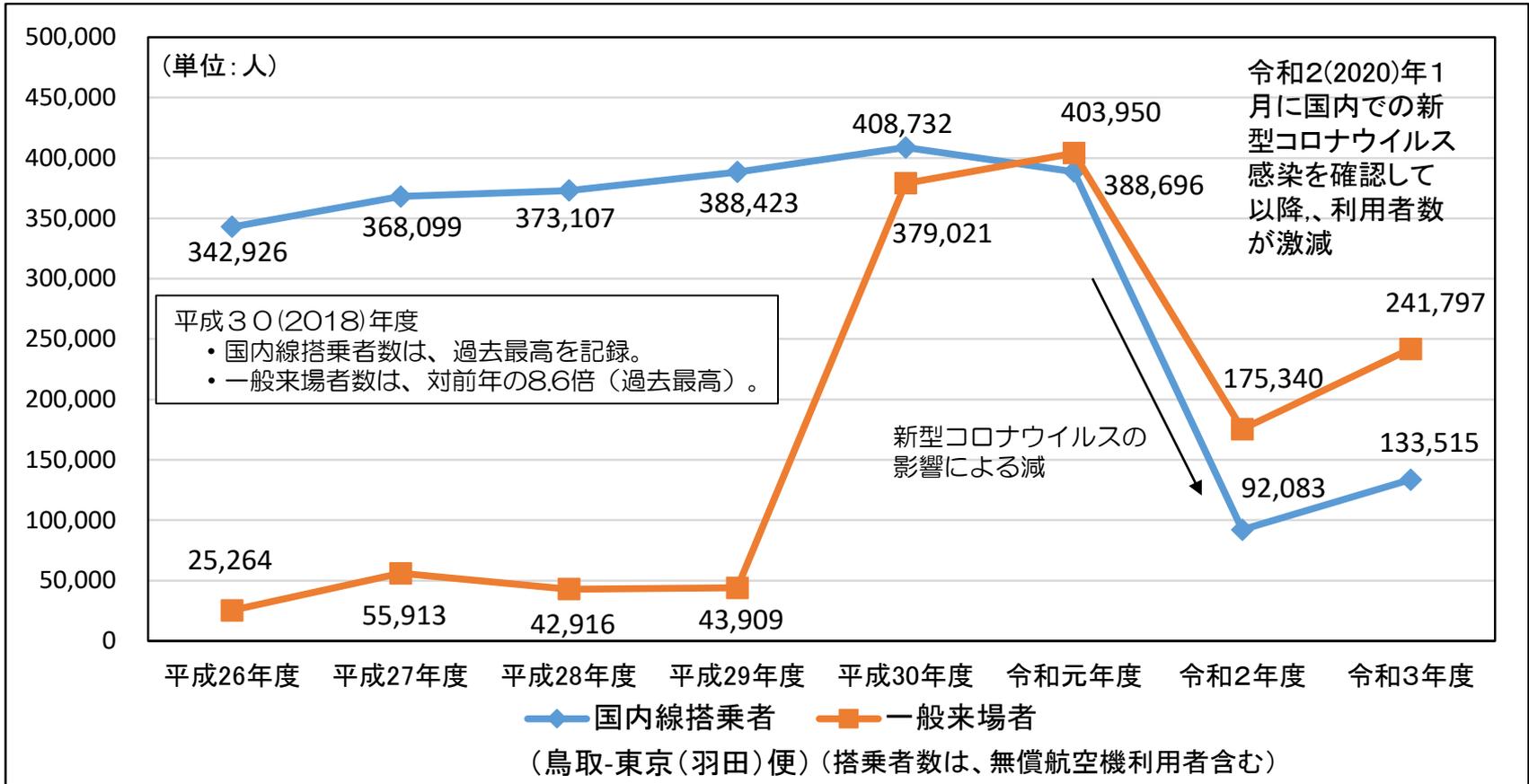
ビル管理費: 国際会館及び増築部のビル管理費の合計
コスト削減率: 内閣府データ(PFI事業による管理費削減率)より5%から10%で設定



(4) コンセプション後の賑わい・取組状況

鳥取砂丘コナン空港の利用実績

空港の利用者数の推移(国内線搭乗者数、一般来場者数)



■国際チャーター便

令和元年度 6,992人
 平成30年度 2,912人
 平成29年度 1,322人

■就航機種(東京便)

・ボーイング737-800型(167人乗)
 ・エアバス320型(166人乗)
 ・ボーイング767-300型(270人乗)※多忙期

(4) コンセプション後の賑わい・取組状況

鳥取砂丘コナン空港リニューアル(1/2)

国内線ターミナルビルと国際線ターミナルの増築・一体化

従前の約4倍に増えたテナントスペースには、地元発の人気飲食店やコナングッズのショップなど新たに4店舗がオープン。



名探偵コナンの装飾の充実

到着ロビーに青山剛昌先生直筆メッセージが刻まれたシンボルオブジェ、喫茶ポアロの再現展示。



シンボルオブジェ



喫茶ポアロ

(参考)

2018(H30).7.01 民営化

2018(H30).7.28 一体化

(4) コンセプション後の賑わい・取組状況

鳥取砂丘コナン空港リニューアル(2/2)

国内ターミナルビル 大規模リニューアル工事

国内ターミナルビルの機能強化を目的とした改修工事を実施(鳥取空港ビル(株)が一体化に併せ実施)

【改修内容】

搭乗待合室拡張、特別待合室移転新設、到着階段撤去、到着手荷物受取所・ターンテーブル更新、会議室等整備、救護室等諸室整備、入館者カウントシステム、フリーWi-Fi設備整備など



保安検査場 改修



保安検査場 改修



搭乗ゲートレイアウト変更



搭乗待合室 拡張



搭乗待合室 拡張



搭乗待合室 拡張



搭乗待合室 拡張



到着手荷物受取所改修



広告看板移転

全国でもユニーク!!
2つの港が連携

空と海のツインポートはさらに加速

2018年(H30)7月の空港ビル一体化リニューアルを機に、**空と海のツインポートは、連携を強化し、相乗効果を発揮!**リニューアル以降の観光客は、**空港、鳥取港ともに上昇!**

鳥取砂丘コナン空港



全国のコナンファンも殺到!
SNS等で話題に!

かっこ空港ロード



車でたったの3分
(1.6km)

鳥取港(マリンピア賀露)



リニューアルから3月末まで(2018年度(H30))の実績

2023年度(R5)の目標値12万人を既に突破!
一般来場者 **約38万人**(前年の**約8.6倍!**)

- ・わったいな(農産物直売所): 前年比7.6%増(6.6万人増)
- ・海鮮市場かろいち: 前年比6.5%増(4.8万人増)

今後も、ツインポートから、多様なイベントや情報発信を次々と展開!



民営化後、従前には無かった多彩なイベントを民間主導で開催!
例: ひなまつりコンサート(空港)



デジタルサイネージによるツインポート相互の情報発信(今後予定、イメージ)



ツインポートや鳥取砂丘周辺の食や観光名所の魅力を発信する**周遊マップ**を作成し、観光案内所等で配布